

小野塚カホリ

雨

月

Kahori Onozucca
DAITO COMICS

物

語





雨
月
物
語

小野塚カホリ

目次

あ と が き	吉 備 津 の 釜	青 頭 巾	浅 茅 が 宿	菊 花 の 約
—	—	—	—	—
111	079	055	029	005

菊^{きく}
花^か
の
約^{ちかひ}



私は何故
未だここに
居るのか…

今日は
あの方との
約束の日

それは人伝てに
聞いて知っている

それなのに

それなのに
なぜ私は
未だここに

丹治!

尼子様からの
お許しが
出ないのだよ

ひと言…
ひと言 あの時
「仕官する」と
言えば良かった
ものを…

何故だ?

丹治!

丹治!

頼む
出して
くれ

宗右衛門!

頼むから
聞きわけて
くれないか

言えるわけがない

何度も言ったが
私にその気は
ない

なのにそんな事を
言ったら
尼様に対しても
不義になるだろう

なあ頼む

私はこの事で
尼様に対して
刃を向けるつもりはないし
赤穴の名に傷がつくなら
縁を切ってくれればいい

せめて
何日か遅れてでも
会わなければいけない
人が私には居るんだ

だから
出してくれ
丹治

あなたに
会いたい

あなたに
会いたい



あなたに
会いたい



約束に
遅れれば
あの方は
私をどう
思うだろう



丹治…

丹治!



いつそ

…陽世の身で
お会い出来ない
ならば



いつそ

— 兄上!

お待ちして
おりました!

お疲れでしょう
ご覧下さい

兄上がお好きな
庭の野菊を
活けてみました



粗餐ですが
食事の用意も
してあります

さ早く
お上がり
下さい

…どうか
なさったのです
か？

お顔の
色が…

兄上？



菊は
篤実な人に
愛されると言う

私は
あなたの庭の
野菊が好き
だった



ながつき
九月の
重陽の
佳節

ただ今日の
この日のために



あなたに
お会いする
ために

私は

生まれて
きたのかも
しれない



—その日私は
高熱を出した

今年が
明けて
間もなく

赴いてた
近江から
故郷の出雲へ
戻る途中だった

出立が
急だった為
その日の宿を
とる事が
出来ず

やむを得ず
近くの家に
宿を求めた

その晩に
熱を出した
のだ

…ええ
四日前ですよ
お泊めたのは

こちらも
怪しい人では
なさそうな風
だったので
お泊めしたん
ですがねえ

その方の
今の
ご様子はいか
らですか？

さあ…
良くなつて
いるのか
はたまた…
あ！
いけませんよ
丈部様

ただでさえ
只病だけでも
辛い事なのに
ましてや見知らぬ
土地では
その方は さぞ
お心細い筈

それに
人間の寿命とは
天命の定むる処

天命で
なければ
どんな病も
うつる事も
ましてそれで
死ぬという事も
ありませんから

たく
宅でも
家中の者には
この部屋に
近づかないよう
言ってるんです

万が一
悪い病だったら…

そうは
いきません

か
ら
り



はい
すぐに
お持ち
しますね

この家は
私の知人の
家ですが
もう少しお休みに
なったら私の家
においで下さい

そこでなら
ゆつくりと
養生して
頂けましょう



…お湯を…

一杯…



…ほん

…旅の方
大丈夫ですか
気をしつかり
お持ち下さい

何か
欲しいものは
ありますか？

ご安心
下さい

私が必ず
お救い
申し上げます

その人は
文部左門と
名乗った

母君と
お二人で
暮らして
いて

儒学者
だと
言った

：私は
学問しか
取り柄が
ありません

しかしその学問も
時勢からは外れて
出世する機会
青雲の便りも
途切れ

：母に心配をかけて
しまっているのが
心苦しいのです
けれど…

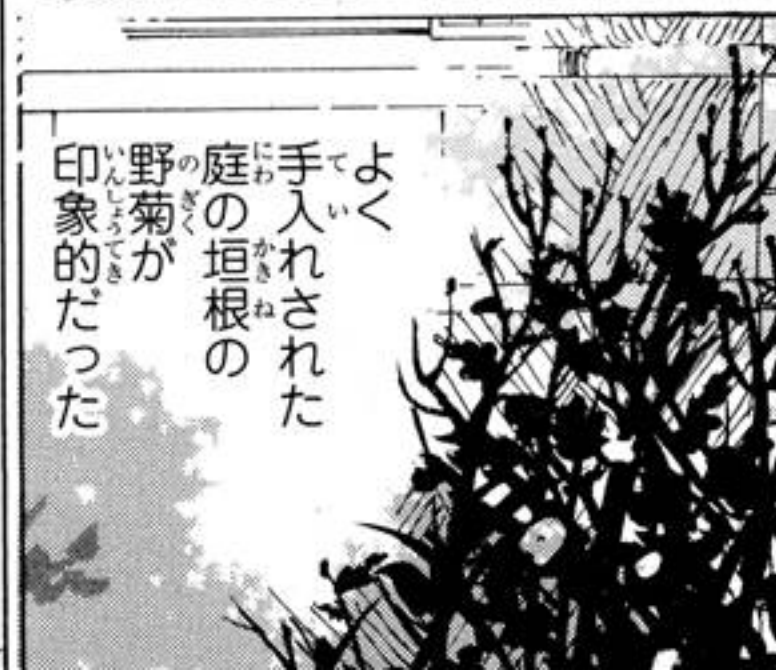
あの…

…



彼の家は
そのままだ
彼の人が
現わしている
ようだった

無駄なもの
一切なく
かといつて
荒んだ印象も
なく清潔で



よく
手入れされた
庭の垣根の
野菊が
印象的だった